

議案第 25 号

上三原辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

上三原辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和 37 年 4 月 25 日法律第 88 号）第 3 条第 1 項の規定により議会の議決を求める。

平成 31 年 3 月 1 日提出

多可町長 吉 田 一 四

(第1号様式)

総合整備計画

兵庫県多可郡多可町八千代区上三原辺地

(辺地の人口 208 人 面積 4.5k m²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 八千代区上三原
- (2) 地域を中心の位置 八千代区大和字芝所1846番地
- (3) 辺地度点数 101点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

(上三原地区獣害防止柵設置)

野生鳥獣による農作物等の被害は、近年深刻な状況となっている。現在でも、野生動物侵入防止対策を行っているが、農家単位で「点」的に個々に行われている。しかし、増加するシカやイノシシに対しての有効性は低くなっており、集落単位等で「面」的な防護柵が必要となっている。そのため、面的に金網防護柵を設置することにより、野生動物の侵入による農作物被害の拡大を防止し、地域住民の生活改善を図る。

(小型動力ポンプ配備)

当該辺地地区は、地区内において自主防災組織を設置し、旧八千代西小学校地区を主な出動範囲とする地元消防団と連携をとりながら消防設備を使った実戦訓練等を行っている。

現在所有している小型動力ポンプは平成15年に配備されたものであり、近年その老朽化は著しく初動対応においてもかなり不安を抱えている状況にあり更新整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

【変更前】

平成29年度から平成32年度 4年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
農業近代化施設	多可町	63,600	3,180	60,420	60,400
小型動力ポンプ配備	多可町	1,900		1,900	1,900
合計		65,500	3,180	62,320	62,300

【変更後】

平成29年度から平成33年度 5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
農業近代化施設	多可町	67,825	3,390	64,435	64,200
小型動力ポンプ配備	多可町	1,900		1,900	1,900
合計		69,725	3,390	66,335	66,100

【変更後】

(単位：千円)

事業名	事業内容	全 体				29年度			
		事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源	
農業近代化施設	鳥獣害防止柵 L=10,600	67,825	3,390	64,435	64,200	15,526	776	14,750	14,700
小型動力ポンプ	ポンプ購入1台	1,900		1,900	1,900				

30年度				31年度				32年度			
事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債	事業費	財源内訳		辺地対策 事業債
	特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源	
13,176	658	12,518	12,500	12,600	630	11,970	11,900	12,600	630	11,970	11,900
1,900		1,900	1,900								

33年度			
事業費	財源内訳		辺地対策 事業債
	特定財源	一般財源	
13,923	696	13,227	13,200

(別表第2) 辺地総合整備計画変更に係る理由書

市町名	多可町	辺地名	上三原
<p>(上三原地区獣害防止柵設置)</p> <p>野生鳥獣による農作物等の被害は、近年深刻な状況となっている。現在でも、野生動物侵入防止対策を行っているが、農家単位で「点」的に個々に行われている。しかし、増加するシカやイノシシに対しての有効性は低くなっており、集落単位等で「面」的な防護柵が必要となっている。そのため、面的に金網防護柵を設置することにより、野生動物の侵入による農作物被害の拡大を防止し、地域住民の生活改善を図る。</p> <p>事業年度 平成29年度から平成33年度 (変更前:平成29年度から平成32年度) 事業費 67,825千円 (変更前:63,600千円)</p> <p>(小型動力ポンプ配備)</p> <p>当該辺地地区は、地区内において自主防災組織を設置し、旧八千代西小学校地区を主な出動範囲とする地元消防団と連携をとりながら消防設備を使った実戦訓練等を行っている。</p> <p>現在所有している小型動力ポンプは平成15年に配備されたものであり、近年その老朽化は著しく初動対応においてもかなり不安を抱えている状況にあり更新整備の必要がある。</p> <p>事業年度 平成30年度 事業費 1,900千円</p>			

